令和7年度柏原市立玉手中学校学校経営方針

学校教育目標

『高い志をもち、自ら学ぶ生徒の育成』～自律、創造、友愛～

1 学校経営方針

知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健やかで、 人間性豊かな生徒の育成

2 学校経営方針の内容

(1) 学校経営方針作成の背景

社会の在り方が劇的に変わると予測される Society5.0 時代の到来、現在は「急激に変化する時代」であり、かつ「予測困難な時代」である。私たち一人ひとり、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。

こうした社会背景を受け、学校教育は、目の前の事象から解決すべき課題を見いだし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出す資質・能力を育成することが求められている。

加えて、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することも求められている。

学校教育はこれまで、学習機会と学力を保障するという役割のみならず、全人的な成長を保障する役割や、人と安全・安心につながることができる居場所としての役割を担い、生徒一人ひとりの知・徳・体を育んできた。「急激に変化する時代」、「予測困難な時代」である現在にこそ、この役割は非常に重要であり、本校として、今後もこの役割を継続して担っていく。

(2) めざす生徒像

〇自他を価値のある存在として尊重できる生徒
〇主体的に考え、学ぶ生徒
〇思いやりのある生徒

(3) めざす教師像

〇生徒と家庭、地域社会と向き合う教師
〇納得解を他者と共に探す教師
〇実践知を共有し、質の高い教育活動を実践する教師

(4) めざす学校像

〇授業を大切にする学校
〇全人的な成長・発達を大切にする学校
〇人と安全・安心につながることができる居場所である学校